



Rokko Catholic Church Bulletin

2019

カトリック六甲教会 会報

6

No. 570



教会掲示板に「新しい友は新しいぶどう酒のようだ。古くなったときこそおいしくなる」
 (シラ書9章10節)と貼ってあるのをご存知でしょうか。
 新しい友はすでにおいしいぶどう酒となってお越しになりました。
 聖週間が終わった4月22日、広島・三篠教会から
 中村神父さまが六甲教会に着任されました。
 さっそく、着任のご挨拶をいただきました。

新元号と共に

新顔というと、もうチョットと若くて元気な姿を人は予想する。
 しかし足元の危なっかしい物忘れが得意の神父・中村健三が、
 22日の夕方に広島からやってきた。しかし本人に責任はなく、ひ
 とえに管区長の命令を喜び勇んで受諾したばかり。御影に高卒まで
 住んでいたから、ここは私の貴重な故里である。小4の時から伊庭
 さんの家でブラウン神父の要理を受け、高三の初めにクノール神父
 から洗礼を授かり、初ミサもここで祝っていただいた。あの時の出
 来事、あそこに在った建物、あんなこんな神父さんたちの活躍、し
 かしすべてはキレイサッパリと過ぎ去ってしまった。



私たちキリスト者は過去ではなく、イエスと共に今日、いま、ここに、生き・働き・学び
 祈ろうと志す者である。新たな元号・令和の時代に応じて、うるわしく和やかに試行錯誤
 の歩みを勇ましく始めたいと思う。皆さまのご声援を宜しくお願いいたします、ご忍耐も
 合わせて。
 中村健三 合掌



《聖体顕示についてのお知らせ》

6月28日(金) 10:00~11:30

イエスのみ心の祭日に『聖体顕示』を行います。

ご聖体の前で祈りを深め、私達の日々の暮らしが、イエスのみ心にあふれる神の愛によって、支
 えられていることを実感したいと思います。また、キリストのもとにとどまって親密さを味わい、主の
 み前に心を打ち明け、自分のため、親しい全ての人のためにもお祈りいたしましょう。
 多数の皆様のご参加を、お待ちしております。
 典礼部

【2019年度 第1回小教区評議会 議事録】

日時：2019年5月12日（日）12：00～13：40

場所：信徒会館第4会議室

1. 主任司祭の挨拶

2. 協議事項

(1) 新年度・新体制の役員名簿の確認・更新と簡単な自己紹介

(2) 今年度の神戸地区「平和旬間行事」について

(3) 「10月の福音宣教のための特別月間」をどのように過ごせばよいのかについて

3. 報告事項

(1) 2018年度会計報告 [財務部 蛭田]

(2) スリランカの献金に関して [主任司祭]

(3) 4月度神戸地区宣教司牧評議会（4/7）報告 [副議長 鍵山]

(4) 地区役員会（4/14）報告 [地区会役員代表 井川]

(5) 初聖体・祝福式お祝い会（4/28）報告 [メールで：教会学校 吉村]

(6) 神戸東ブロック合同堅信式の準備について [典礼部 堤]

(7) イエズス会4教会のウェブ会議についての報告その他 [広報部 詫]

【2019年度 第二回地区役員会 議事録】（要約）

日時： 5月26日（日）12：00～12：40

場所： 第1, 2会議室

出席者： アルフレド主任司祭、小教区評議会議長、地区会役員

1. ご復活のお祝い・高山神父様送別会（4月21日）報告

初聖体・祝福式お祝い会・中村神父様歓迎会（4月26日）報告

2. 受洗された方、転入された方の説明会 5月19日（日）報告

3. 納涼の夕べについて 8月17日（土） 納涼の夕べ企画チーム

4. その他

・避難チームが6月9日より発足する。

（災害時の避難方法、避難訓練等の立案・検討を開始する。）

以上

今年の初聖体と祝福式について、こどもたちや父母の方から、たくさんの感想をいただきました。これからの教会をになう希望のこどもたちの感謝と可愛い決意のほどを紹介します。

初聖体・祝福式を終えて

教会学校 2 年生クラス担当
リーダー 吉村千里



4 月 28 日 10 時ミサの中で 7 名のこどもたちが初聖体・祝福式(洗礼 1 名初聖体 6 名祝福 1 名)に与りました。この日神父さまはお話の中で「ずーっとイエスさまと生きていくということは“イエスさまと親しくなってほしい”“イエスさまと友だちになってほしい”ということです」とおっしゃっていました。皆さまにはこれからもこどもたちが神さまの子として健やかに成長していけますように温かい目で見守って頂けたら幸いです。お祝いをして下さった大勢の方々、パーティーの裏方を手伝ってくださった方々に心からの感謝と御礼を申し上げます。

こどもたちの感想文

無事に初聖体・祝福式を終えることができました。パーティーの時 最後にはリーダーから「マグカップ」と「聖書」と「ロザリオ」と「十じか」をもらいました。私のお母さんが、写真をとっておかしにしてみんなにくれました。うれしかったです。白いふくをきて、十じかをつけて、花かんむりを身につけました。立つときにはぜったい手をあわせました。また、神さまの家族の一員になれてよかったです。全員のリーダーにかんしゃしたいです。 ののか

わたしは 4 月 28 日にせんれいをうけ三年生のみんなと初聖体祝福式を受けました。二年生のきょう会学校で神さまのいろいろな事を学びました。一番心にのこっているのは人にもものをあげるのではなく人にやさしくする事が大切だということです。わたしのせんれい名はフランシスカです。フランシスカはくるしんでいる人をたすけたせい人です。わたしも神さまの民の一人としてよい行いができるように、がんばりたいです。 ももは

ぼくは初聖体のときに思ったことは 2 つあります。1 つめはパンみたいなあじだと思いました。2 つめはいただいたときに心のなかにイエスさまが来られたと思ってうれしかったことです。とてもきんちょうしました。じこもなく 初聖体をうけられてうれしかったです。 みずき

かみさまが心の中にはいつてきてうれしかったし あたたかかったです。かみさまが心の中にはいつてもっとやさしくなれそうです。さいしょはおいしそうとおもっていたけどたべてみるとあんまりあじがしなかったです。 りいち

初聖体しきをうけてご聖体をもらいました。これで心に、イエスさまが入ったので、どんなことがあってもイエスさまとずっといっしょにいたいです。 レイモンド

ごせい体はいりょうまでがたのしみで、もらえてうれしかったです。心にいるイエスさまが一週間に一回きてくれるので、らいしゅうもたのしみです。 はな

イエスさまが心の中に入ってうれしかったです。水とぶどう酒をはこぶのがとってもきんちょうしたけど、うまくできてうれしかったです。水とぶどう酒はおもかったけど、うまくこぼさずはこべてうれしかったです。

そうま

保護者の感想文

祝福式を無事に終えて・・・

小林聖心女子学院というカトリックの小学校に通い、六甲教会の存在を知り、教会学校のことを知りました。それから早2年、最初は教会のお友だち、リーダーに会える事が楽しく通っていましたが、神さまについてお勉強をすることを通して、娘がとても大きく成長したように思います。うまく説明できないのですが・・・準備の時間から祝福式を心待ちにしている姿を見てきましたので、本当に無事にこの日を迎えられるよかったですと思っております。今後ともどうぞよろしくお願い致します。そしてありがとうございました。

北川

この度は洗礼、初聖体・祝福式をありがとうございます。子どもたちの式に向け、神父様、教会学校リーダー、他学年の保護者の方々など、たくさんの方にご尽力頂きこの日を迎える事ができました事を感謝申し上げます。ありがとうございます。これから、7人がキリストにならう者として共に心をあわせて歩めますことは親として大きな喜びです。どんな時にも感謝を忘れず歩んでいきますよう、今後共よろしく願い申し上げます。

齋藤

息子が初聖体のお恵みにあずかることができ、とても感動しています。ご準備に携わって下さった皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。教会学校で仲良くなったお友だちと一緒に初聖体・祝福式を行えて素晴らしい経験になりました。これからも教会学校の皆様との交流を大切に、親子で信仰生活を深めていけたらうれしいです。息子の初聖体は私にとっても自分の信仰生活を振り返る貴重な経験になりました。息子は初聖体を通して、神さまのことを以前より身近に感じるようになったようです。ごミサに毎週あずかりたいと言うようになりました。ご聖体を頂く喜びを純粹に感じていて、これからもごミサでご聖体を頂くことをとても楽しみにしています。それだけでなく、聖歌を歌ったり、聖書の言葉や神父さまのお話を聞くことが好きになったからだそうです。初聖体の大きなお恵みを親として実感し、感謝しています。

島根

無事に初聖体・祝福式を迎えることができ感謝します。これまで温かく見守り準備して下さった神父さま、リーダー、教会の皆様 ありがとうございます。息子は物心がついた頃からミサの最中もゴソゴソして落ちつきがなく周りの方へ迷惑がかかるので一時的に教会から足が遠のいていました。そんなある日アルフレド神父さまが「ここにいる皆さんは1つの家族です。みんなでこの子どもたちを見守り育てていきましょう」と言われた言葉ですごく救われました。その言葉があったからこそ、再びミサにも来れここまで辿りつけた事に感謝しています。息子はまだ初聖体の喜びやミサに参列する理由を理解していませんが、少しずつ神さまからの無償の愛に気づき心が満たされますように・・・また自分と価値観が異なる人の行動や言葉をゆるし合える人となれるよう成長して行ってほしいです。

島本

私たち夫婦にとって2人目の子が初聖体をたまわることができました。いつまでも小さな末っ子だと思っていたのですが、一年間、教会学校で聖書や色々なことをとてもすばらしいお友だちと学び、ひとまわり大きく成長した姿を見ることができました。いままでは元気な男の子なので週に1度の1時間だけのミサもじっとしていることがとても大変でした。これからは、少し違った心持で、ミサをたまわることができるのでは？と期待しております。

タン

ミサの中で、アルフレド神父様が「この子たちは教会の子どもです。」と言ってくださったことが心に残っています。初聖体の恵みをいただいた今日、多くの教会の方に暖かく見守られて、「うれしい初聖体」をいただけたことは、娘にとっても、保護者の私たちにとっても忘れられない一日になりました。一年間、娘を初聖体へと導いてくださったリーダー方、神父様、本当にありがとうございます。

三澤

お友だちといっしょに初聖体をうけることができ、神父様、リーダー、教会の皆さまに心から感謝しております。神さまについてお勉強ができ、心の中の成長も見られました。「心の中に神さまが入ってきた」という本人の言葉のとおり、心にあたたかい灯がついたような気がします。

また、お祝いの会でたくさんの教会のコミュニティーの皆様にお祝いいただき、感謝です。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

山下



ようこそ六甲教会へ 受洗者・転入者への共同体説明会

5月19日(日)11時半より第1会議室で、「受洗者・転入者への共同体説明会」が開かれました。出席者は受洗者2人、転入者が7人でした。「六甲教会の祈り」を初めと終わりに唱和して、アルフレド主任司祭は、挨拶のなかで、不慣れでとまどうことがないように、地区会の活動に積極的に参加したり、イグナチオ喫茶などで懇親を深めるように、との懇切なお話をされました。お互いの自己紹介のあと中村評議会議長が「六甲教会のしおり」を中心に地区会、評議会組織・専門部会、行事予定、教会活動などの概要を説明しました。地区会役員代表の井川さんからは地区会の活発な活動ぶりのお話がありました。またメールシステムによる連絡体制の件も周知してもらうように、主任司祭から念押しがありました。転入者のなかに、四国から転入してきた若いカップルがいます。6月に結婚式を六甲教会で挙げることになっています。前途を祝福し、信徒一同であたたかく迎えてあげたいものです。



【 祈りと音楽の集い 】

～コラールの世界～

オルガニスト椎名雄一郎氏を迎えて

2019年7月7日(日) 14時開演 13時30分開場

場所:カトリック六甲教会主聖堂

入場無料



【 施設管理部 園芸係 】

今年の春の寒暖を繰り返した季候は、どの植物の開花も長い期間楽しませてくれました。花吹雪の掃除、草抜き、花がら摘み等のお手伝いをしてくださる方が増え美しいお庭になっています。

3,4月とイノシシの侵入があり蛋白源の幼虫を求めてあちらこちらを掘り返しています。

緑も深まり初夏の訪れです。今年のトケイソウは

5月20日、初開花しました！

花壇の植え替えと倉庫周辺の整理を下記のように行います。ガーデニングに関心のある方、初心者大歓迎です。下記のように作業を致します、短時間でもかまいませんので、お手伝いをしていただけの方は事務所までお申し出ください。

6月10日(月) 9:30～11:30

【 社会活動部より 】

6月5日(水) 10時:手芸の集い

(第1,第2会議室)

どなたでも参加ご自由です。

6月8日(土) 10時:炊き出し(台所)

小野浜グラウンドでの配食や、

皆さんとの交流だけでも。

6月16日(日) 10時ミサ後:ふれあい広場

(イグナチオホール)

ボランティア団体出店

6月24日(月) 9時半:ともしび会(台所)

施設の子どもたちへのケーキ作りを

是非一緒に。

「納涼の夕べ」イベント参加者募集！！

月日:8月17日(土)

場所:教会駐車場(雨天時イグナチオホール)

- ・ 参加項目は問いません。(歌、踊り、ダンスなど)
- ・ 1ステージ15分位でお願いします。
- ・ 多数応募の場合は、お断りする場合があります。

応募受付:6月30日(日)10時ミサ終了時まで

問い合わせ先:

納涼の夕べ実行委員会(江本、山縣、中村)

または、所属している地区長まで。

ご応募をお待ちしております。



【5月度「三日月例会」に参加して】

令和になって初めての三日月会は「シニア世代の健康話し方教室」というテーマで、劇団5期会代表の尾崎鷹基先生の講演会が、イグナチオホールでミサの後開かれました。あいにくの雨模様で参加者は30名あまり、お二方の神父様のお姿もお見受けしました。始まりは「芸能人が昼夜でもお早うございますというのはなぜか？元は謙譲語である」「こんな早くからいらして頑張っている」という意味もある。私たちが相手に敬意をこめて、「お早うございます。よろしくお願ひします」と皆で大きな声で元気よくご挨拶!! 一気に堅苦しさはなくなり、リラックスしてお話を聞く下準備をさせていただきました。そして、私たちが話すために役立つことをと、具体例を挙げて楽しく話してくださいました。

我々は長く英語を勉強していても話せない。それは耳で聞いていないから、難しい日本語を私たちが話せるのは、幼い頃から家族や周りの人々から耳で聞いて話せるようになった。聞くということはとても大切なことです。日本語は「一音一拍」からなっている、又美しく聞こえる標準語は母音が高音である。良い言葉（教会の玄関掲示板に貼ってある言葉を例に挙げられ）、きれいな言葉、話し方を耳で聞き真似て話す、滑舌よく話すには一音一拍を丁寧に話すこと。英語のアクセントは強弱ですが、日本語は高音と低音で、日本のうたの音符もそのように表わされている。日本の文化である俳句、和歌、短歌も文字数で感情を表現したり、情景描写を一音一拍で表している。原稿用紙も升目に一文字ずつ書く、これも日本語が一音一拍から成り立っているからだと言われました。語尾を大切にしっかり言わないと意味が伝わらない。そして実際にみんなで声に出して北原白秋の「五十音」、谷川俊太郎の「あいうえおうた」を読み、呼吸体操や肩甲骨を動かす運動をしたりと楽しい講演でした。聖書朗読の奉仕をさせていただいている私にとって、とても役に立つお話を聞かせて頂きました。典礼の専門家の国井神父は、「朗読者はそこに集まった人に神の言葉を伝えるのである。ただ印刷された文字を人間の声に置き換えることではない。そこに書かれていることの内容が聞いている人の心に伝わらなければならない。」と述べ、伝わる朗読の必要性を強調されています。今回のお話で教えていただいた「朗読をするときは、言葉の意味を大切に、一音一拍をゆっくり丁寧に発音する。感情はお芝居ではないので朗読者の心に留め、言葉には載せない。」を今一度実際に実行できるように心がけたいと思いました。

藤原公子





【音楽奉仕者の集い】

5月11日(土)午後1時半から「音楽奉仕者のつどい」が行われました。平素歌われる聖歌をどのようにミサの精神に近づけるか、オルガン奉仕者、独唱者、聖歌隊のメンバーが集って、聖歌隊指揮者の三浦さんの、「ことば(聖歌の意味)を大切に」という話を中心にレッスンしました。歌い慣れたために気づかないでいた部分の修正など、細かい点も確認しました。また、聖歌隊は固まって歌うのではなく、聖堂に広がって会衆をリードして欲しいという声があるので、次のミサから聖歌隊メンバーはなるべく会堂の後部に散らばって歌うようにしてみよう、ということになりました。

(典礼部音楽チーム 清水真理子)

聖書通読勉強会

カトリック信者としてよく知られている新約だけではなく、キリスト教のルーツである、旧約時代の事も何時かはもっと知りたいと思いつながらなかなか機会に巡り合えずにいました。そんな折から約10年前に、他教会では盛んになっていた聖書:100週間という(聖書を約100週間で全て読み通す会)に興味を持ちシスター出口の強い勧めと忍耐強い導きによって当教会でも始まり、約3年間で聖書を全て、読み通しました。理解しにくいところも多くその3年間は人生半ばを過ぎた私たちにはとてもハードなものでした。しかし、何とか読破したということは私達にとっては大きな宝物で喜びでありました。聖書を読むということは読む度に新しい発見と感動があるものです。異動されるSr.出口からの勧めもあり、その後、信徒たちだけで気楽に一か月2回を基本に1時間半の聖書朗読と意見交換、30分のお茶とお菓子の時間を続け7年になります。とてもゆったりと読んできたつもりですが、昨年全てを読み通し、未だ新約を読み終えていない別のグループも加わり新約聖書を又読み始め、先日はヨハネ福音書を読み終え、真面目にやれば今年中(来年に持ち越すかも)に新約も読み終えるかもわかりません。聖書は何度読んでも発見と感動があり、(勿論、疑問も多くなりますが、)読む事の喜びは計り知れません。一度読んだから、と満足してはいられません。今読んでいるのを読み終えても又最初から、読み通したいです。新しい気づきを頂く為に。皆さまと一緒に!! 聖書を気楽に一緒に読みたいを思われる方は途中からでもどうぞご参加下さい。(笑いの絶えないやかましい会ですが)お待ちしております。

例会:基本的に第2・第4月曜日 10:00~

(月曜日が祭日の場合は変更になります)

次回:6月10日、24日 場所:第4会議室

折川久美子

マザーテレサ共労者会

コルカタの聖テレサ(マザーテレサ)が、インドのコルカタで「神の愛の宣教者会」を発足させ、もっとも貧しい人々の為の活動を始められた時、そのお手伝いをしていた婦人たちがいました。

クリスマス飾りを作って売ったお金で、スラムの子どもたちに服やおもちゃを用意したりというような小さなことをしていたのです。

その働きがもとで、だんだん協力する人が増え、やがて正式にマザーテレサを、祈りと・愛と・奉仕で支える団体として認められ、教皇様の祝福を受けました。これが「マザーテレサ共労者会」の始まりです。

日本でも「日本マザーテレサ共労者会」が誕生しました。1979年1月のことです。それからいろいろなことがあったのですが、「日本マザーテレサ共労者会六甲グループ」として、現在も月に一度の例会を教会内で開いております。

特に、グループとして奉仕活動をするにはしていませんが、マザーテレサの精神・お言葉の数々を学びながら分かち合いをしています。そしてそれぞれの働きや祈りを、それぞれの場で捧げております。月に一度90分ほどですが、静かに自分の心や働きを振り返るかけがえのないひとときになっております。

どなたでも、たとえ宗教が違って構いません。愛と祈りの心があり、また求めている方は、拒みません。世界でも、日本でも共労者会は同じです。興味のおありの方は、どうぞ覗きにいらしてください。

例会：毎月第4土曜日 午前10:30～12:00 第5会議室

(ただし8月と12月はお休みです)

阿部 陽子

【2019年6月予定表】

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
主の昇天 社会活動部 学習会 12:15 アベイヤ補佐司教					初金曜日ミサ 7:00 10:00	社会活動部 炊き出し 10:00
9	10	11	12	13	14	15
聖霊降臨の主日 財務報告会 10時ミサ後	聖書通読勉強会					
16	17	18	19	20	22	22
三位一体の主日 ふれあい広場						マザーテレサ共労 者会 10:30
23	24	25	26	27	28	29
キリストの聖体 聖ペトロ使徒座への献金 神戸東ブロック合同堅信式 10:00 (神戸中央教会)	洗礼者聖ヨハネ の誕生 ともしび会 聖書通読勉強会				イエスのみ心ミサ 7:00 聖体顯示 10:00~11:30	聖ペトロ聖パウロ 使徒
30						
年間第13主日 侍者錬成会 11:15~15:00 施設管理部会 11:30						

<p>次回7月号の発行は、6月29日(土)です。 原稿は毎月15日ごろまでに教会受付へ直接ご持参 いただくか、FAXやメールでお願いいたします。 皆様からの原稿をおまちしております。</p> <p style="text-align: right;">(広報部)</p> <p style="text-align: center;">http://www.rokko-catholic.jp</p>	<p>カトリック六甲教会</p> <p>〒657-0061 神戸市灘区赤松町3-1-21 電話 078-851-2846 FAX 078-851-9023 Eメール renraku@rokko-catholic.jp 発行責任者 アルフレド・セゴビア 編集 広報部</p>
--	--